

気軽に相談してみませんか

●対象者 来年度小学校に入学する子どもの保護者

就学相談

子どもの入学に当たり、気になる行動や、うまくできなくて困っていることとはありませんか。より良い就学先などについて、一緒に考えましょう。

●期間 7月1日(金)～8月12日(金)
(土・日曜日、祝日を除く)

●時間 午前9時～午後4時(1人40分程度)

●会場 市役所5階 教育サポートセンター

●内容 ◇集中力が続かない◇周囲の子ともと一緒に活動することが苦手◇大人(親・先生)の指示が伝わらない◇こだわりがある◇発音が不明瞭 など

●相談員 教育サポートセンターの指導主事

●申込方法 電話

●申込期間 6月7日(火)～7月4日(月)(土・日曜日を除く)

心と体の発達 巡回教育相談

子どもの発達について、心配なことや不安に思っていることを、専門家に相談してみませんか。

●日時 7月13日(水) 午前9時～午後4時半

●会場 市役所4階 委員会室

●内容 ◇日常生活・幼稚園などで困っていること◇子どもの発育で気になること◇入学について心配なこと など

●相談員 ◇特別支援学校教諭◇巡回教育相談員

※県から派遣されます。

●申込方法 申込書(市教育サポートセンター、保育所・幼稚園で配布)を提出

●申込期限 6月14日(火)

●申し込みと問い合わせ先

教育サポートセンター(教育支援課内) ☎(580)1877

教科書展示会

文部科学省の検定を受け、現在小中学校で使用している教科書の展示会を行います。

●日時 6月8日(水)～27日(月) 午前8時半～午後5時(土・日曜日を除く)

●会場 春日市役所4階(春日市原町) ※大野城市役所5階でも、常時閲覧できます。

問い合わせ先

教育振興課教育振興担当

☎(580)1907

こんにちは保健師です。

不育症

妊娠しても、流産を繰り返したり、死産になってしまったりすることを不育症と呼んでいます。

一般的には2回以上連続した流産または死産があれば、不育症と診断されています。

原因

流産は全妊娠の10～15%に起こるとされており、妊娠歴のある女性のうち、約40%に流産経験があることが明らかになっています。

妊娠初期の流産の原因の約60～80%は赤ちゃんの偶発的な染色体異常とされていますが、流産を繰り返す場合には、その他に多くの

流産のリスク因子を持っていることがあります。

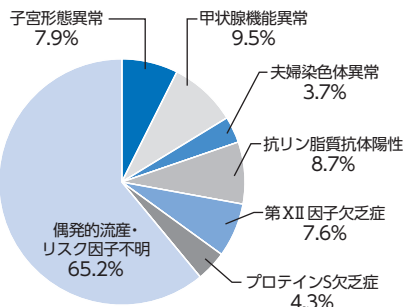
検査や治療

不育症の人も、特別な場合を除いて、適切な治療を行うことで出産することが出来ます。まずは、かかりつけの産婦人科医とよく相談し、納得のいく検査や治療を受けることをお勧めします。

福岡県不妊に悩む人への特定治療支援事業

県では、不妊に悩む夫婦に不妊治療の助成を行っています。不妊治療が保険適用されることに伴い、現行の助成制度は令和3年度に終了しますが、令和4年度は、移行期の経過措置が実施されます。詳しくは、申請窓口にお問い合わせください。

不育症のリスク因子の頻度



参考: Fuiku-Labo (厚生労働省不育研究班)

申請窓口

筑紫保健福祉環境事務所健康増進課 ☎(513)5583

問い合わせ先

こども健康課母子保健担当 ☎(580)1978



県ホームページ



Fuiku-Labo (厚生労働省研究班)